平成26年９月定例市議会で
『教育関係の公の施設に関する条例の一部を改正する条例』が議決しました

平成29年4月
串間市の６つの中学校がひとつの新しい学校になります

教育委員会で定めた『串間市中学校再編基本計画および実施計画』に基づき、
市内中学校を統合し、新しい中学校を設置するため、
平成26年９月定例市議会に「教育関係の公の施設に関する条例の
一部を改正する条例（案）」を上程し、９月24日本会議において議決されました。
これにより平成29年４月１日の串間市中学校再編が正式に決定しました。
子どもたちにとって望ましい教育とは…。新しい中学校づくりとは…。
みんなで一緒に考えてみましょう。

串間市中学校再編だより

第１号
平成26年11月発行

串間市教育委員会 学校政策課
TEL.72-2216 / E-mail：gako@city.kushima.lg.jp

第1部

「なぜ、学校再編するのか」

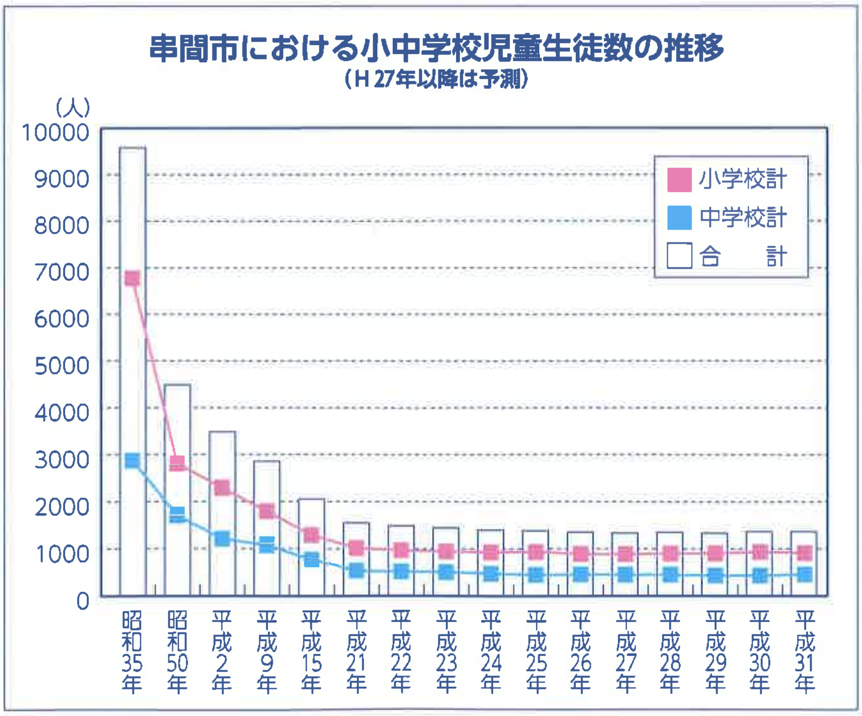
【串間市の現状を知る】

人口減少と学校の小規模化

串間市では、少子高齢化の進行により、児童生徒数は年々減少しています。現在、小学校11校中1校のみが12学級以上の中規模校で、10校は小規模・過小規模の学校となっています。また、7校が複式学級を有する学校となっています。

一方、中学校においては、文部科学省が標準とする12学級以上の学校が1校もなく、6校全てが小規模校・過小規模となっており、中学校でも2校が複式学級を有する学校となっております。

中学校の生徒数の推移を見てみますと、平成15年度に775人だった生徒数が、平成25年度には500人を下回る456人となっています。この10年間で生徒数が319人（割合で約4割）減少しています。



児童生徒数（学校別） 単位：人

学校	平成15年度	平成25年度	増減
福島小	549	457	△92
有明小	132	85	△47
笠祇小	21	10	△11
北方小	105	78	△27
金谷小	44	27	△17
秋山小	24	14	△10
大束小	185	129	△56
大平小	30	11	△19
本城小	112	69	△43
市木小	39	24	△15
築島分校	5	0	△5
都井小	40	27	△13
小学校計	1286	931	△355
福島中	434	277	△157
北方中	76	43	△33
大束中	139	79	△60
本城中	54	32	△22
市木中	32	14	△18
都井中	40	11	△29
中学校計	775	456	△319
合計	2061	1387	△674

これまでの主な経緯

●平成19年9月
９月議会において教育委員会としての中学校統廃合の方向性を公表

●平成19年11月
学校統廃合に係わる保護者説明会

●平成20年3月
市議会で中学校統廃合について再検討することで答弁

●平成23年6月2日
串間市小中学校規模適正化審議会設置

●平成24年1月31日
串間市小中学校規模適正化審議会答申

●平成24年8月
教育長と語る会

●平成25年2月
中学校適正配置（学校再編）の意見交換会

●平成25年3月22日
串間市中学校再編基本方針の決定

●平成25年6月
学校再編に関するアンケート調査の実施

●平成25年11月20日
串間市中学校再編基本計画および実施計画の素案決定

●平成25年11月25日
市長への協議

●平成26年1月14日
議会への説明

●平成26年1月15日～2月13日
パブリックコメントの実施

●平成26年1月
串間市中学校再編基本計画および実施計画素案等説明会

●平成26年5月
串間市中学校再編基本計画および実施計画（案）意見交換会

●平成26年7～8月
調整会議

●平成26年8月12日
庁議にて再編計画（案）承認・決定

●平成26年8月22日
「市木に学校を残す会」へ陳情回答

●平成26年9月24日
９月定例市議会で「教育関係の公の施設に関する条例の一部を改正する条例」が議決

子どもたちにとって望ましい教育を

学習指導要領は、児童生徒の現状を踏まえ、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体といった知・徳・体のバランスのとれた力である「生きる力」をより一層育むことを目指しています。「生きる力」を育むためには、同学年の学級集団での学習・体験活動などができる集団が必要です。

串間市では、今後、生徒数の増加が見込めないため、「同学年の集団規模を大きくする」ことを目的として、学校再編を行うことにしました。

中学校の学校再編にあたっては、生徒にとって、より良い教育環境とより質の高い教育を提供することが大切です。

同学年の集団規模が大きくなることで、生徒は、より多様な考えや価値観に触れることができ、互いに学び合い高め合いながら考えを練り上げ、表現力やコミュニケーション能力を伸ばすことができます。

また、教職員についても、配置される教職員数が増加され、各教科の専門の教員による指導や少人数指導が可能となります。

部活動についても、その選択肢が増え、競技力の向上が期待されます。合わせて、施設設備の合理的な利用と教育費の集中的な投入により、教育環境の整備充実を図ることができるようになります。

平成26年度　中学校部活動状況

学校名	部活動数	部活動名
福島中	14	軟式野球、サッカー、男子・女子ソフトテニス、剣道、男子・女子バレー、男子・女子バスケット、卓球、弓道、柔道、吹奏楽、（陸上競技）
北方中	4	軟式野球、女子バレー、男子・女子ソフトテニス
大束中	6	軟式野球、男子・女子ソフトテニス、女子バレー、音楽部、いもっこクラブ
本城中	2	軟式野球、女子卓球
市木中	2	男子・女子バドミントン
都井中	1	ソフトテニス

第2部「新しい中学校づくり」

串間市中学校再編基本方針

（1）同学年の生徒集団規模を大きくし、1学年2学級以上の学校規模を目指す。

（2）生徒の学力向上に資するため、各教科の専門教職員を確保できるよう配慮する。

（3）部活動について、生徒が多様な種目（文化・スポーツ）の選択ができるようにする。

（4）現在推進している中高連携の充実を図り、「連携型中高一貫教育校」の設置を目指す。

（5）生徒の登下校の安全確保を最大限配慮しながら、生徒、保護者に過重な負担がかからないよう配慮する。

学校再編の整備計画

（1）新たに統合される中学校の整備計画は、中学校再編後の生徒数から必要な普通教室、特別教室、管理教室を整備していくとともに多目的教室（少人数学級）や多目的ホール等を整備していきます。

（2）学校施設の教室等に空調（エアコン）の整備を行い、より良い環境で学習に取り組めるようにしていきます。

（3）生徒が安全に通学バスを利用できるよう校内通学バス待合所、屋外トイレおよび駐車場の整備を行っていきます。

（4）部活動を充実していくために、現状の屋内体育運動施設（体育館）のほかに新たに武道場の整備を検討していきます。また、部活動の部室等の環境整備を行うとともに、競技力などの向上を図るためグランドや用具の整備も行っていきます。

（5）少人数指導のための市単独による教職員の配置や特別な支援を要する生徒に応じた支援を行うための特別支援教育支援員の配置を行っていきます。

（6）学校再編による生徒の不安や戸惑いに適切に対処するため、事前に学校間での交流などの取組を強めてそれらの解消を図るとともに、新たに統合される中学校では、生徒の不安や悩みに対応するスクールアシスタント等の活用ができるよう、教育委員会と学校が連携して生徒の心の負担を軽減していきます。

また、統合される前の学校の教員が配置されるよう県教育委員会に働きかけを行っていきます。

新しい中学校でこんなことしたい！

笠祇小学校6年
森（もり） 彩乃（あやの）さん

「明るくて元気な学校」

新しい中学校生活で一番楽しみなのは部活動です。走ることが得意なのでテニス部と吹奏楽部に興味があります。笠祇小では同級生が2人のみ。中学校に入ったらいきなり大人数になるので、授業や友達ができるか不安だけど、明るい学校になることを楽しみにしています。

大束小学校6年
坂田（さかた） 勇剛（ゆうごう）くん

「みんなが楽しめる学校」

2年生までは大束中学校なので歩いてすぐだけど、3年生は通学距離が遠くなるので、朝早く起きられるか少し心配です。でも、しゃべるのが大好きなのでたくさん友達を作って、みんなが楽しめる学校にしたいです。いろんなスポーツができる広い校庭があるといいなあと思います。

北方小学校6年
宮﨑（みやざき） 隆徳（たかと）くん

「みんなが仲の良い学校」

中学3年生になるときに、一つの学校になるので、受験が心配。進路のことなど相談できる先生がいたらうれしいです。中学生になったら、ソフトテニス部に入って部活動を頑張りたいです。また、社会科が好きなので、専門の先生の分かりやすい授業がこれから楽しみです。

本城小学校6年
渡会（わたらい） 光岳（みがく）くん

「全員と交流ができる学校」

「クラス替え」を経験したことがないので、とても楽しみです。理科の実験などグループに分かれて授業ができるので、たくさん勉強したいです。でも、急に人数が増えすぎて、同級生の顔と名前を覚えられるか心配。だから全員で交流できる学校行事を増やしてほしいです。

都井小学校5年
石上（いしがみ） 空（そら）さん

「お互いを思いやれる学校」

お友達をたくさんつくるのが楽しみだけど、みんなと仲良くなれるか不安もあります。中学生になったらサッカーが好きなのでやってみたいです。ぜひ女子サッカー部をつくってほしいです。みんながお互いにやさしく接し、いじめのない学校だといいなあと思います。

第3部

「実現に向けて」

新しい中学校づくり推進委員会設置に向けて

平成29年4月に新しい中学校の開校を円滑に進めるための組織として、『串間市新しい中学校づくり推進委員会』と『串間市立中学校再編検討委員会』を設置します。また、具体的な作業を行うためにそれぞれの部会を設置し、協議を進めていきます。

串間市新しい中学校づくり推進委員会

○校名、校章、校訓、校歌、制服等の制定に関すること
○教育課程、学校行事および学級編成に関すること
○通学路、通学方法に関すること
○学校、生徒会、ＰＴＡ、部活動等の組織に関すること
○交流学習に関すること
○学校施設、設備、備品の整備（廃棄）に関すること
○学校図書の整理（廃棄）に関すること
○閉校および開校式典に関すること

※部会＝総務部会、教務部会、生徒指導部会、保健体育部会、庶務部会、図書部会、ＰＴＡ部会の7部会

串間市立中学校再編検討委員会

○学校再編に関する事務の調整およびこれに必要な対策に関すること
○通学バス導入方法および通学路に関すること
○学校施設、跡地等の転用および利用に関すること
○その上記に準じ必要な事項の検討

※部会＝総務財務部、地域連携部の2部会

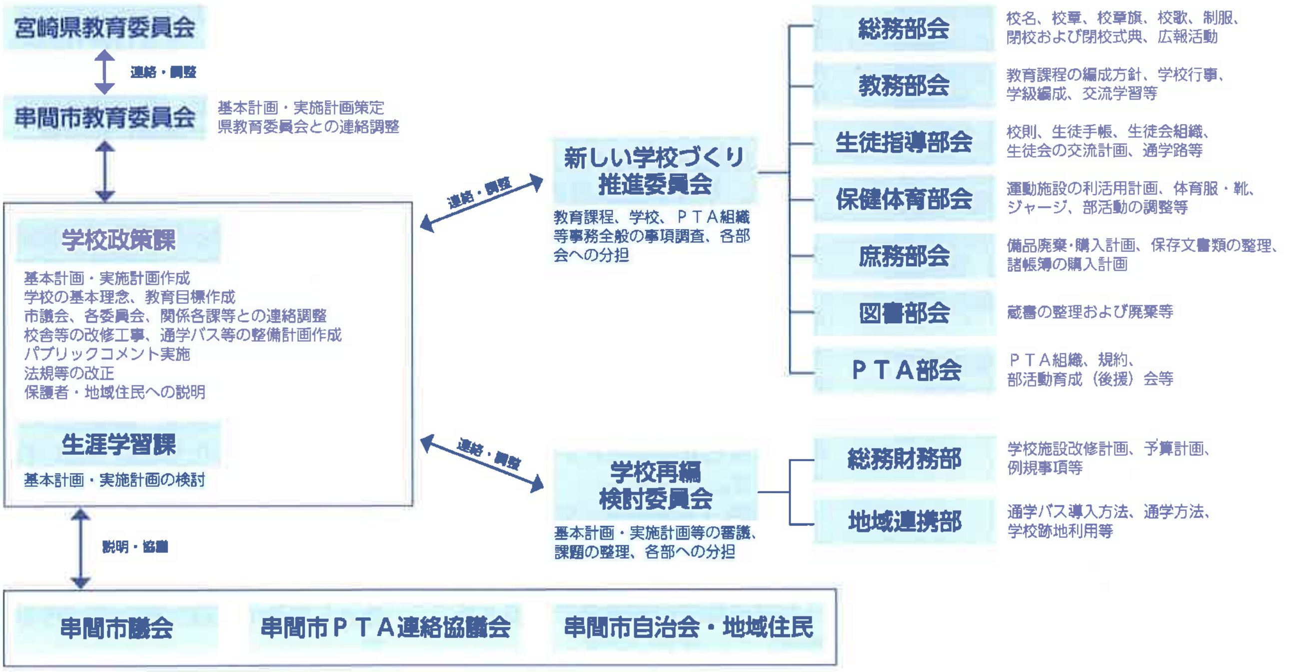
より良い中学校づくりの実現に向けて

新しい中学校づくり推進委員会と中学校再編検討委員会での協議を充実させ、その進捗状況を報告していくために「学校再編だより」を随時発行します。必要に応じて学校別、地区別説明会なども行ってまいります。

また、学校再編に関していろいろな意見がいただけるよう、市のホームページ等に学校再編に関するコーナーを設置してまいります。

今後もよりよい中学校づくりの実現に向けて、学校、保護者や地域の方々と協働して推進してまいります。

串間市学校再編に向けての組織編成



interview

「時間をかけて考えよう」

串間市ＰＴＡ協議会会長 加藤(かとう) 茂樹(しげき)さん

まずは意識を変える

各地域、各家庭によって考え方はさまざまあると思います。ですが、再編することが決まった今、私たち保護者は子どもたちのためにも『新しい中学校づくり』について前向きに考える必要があると思います。

「当たり前」を変えることは、とても不安です。「どのように変わるのか」といった具体的なイメージが分からないと、前には進めないですよね。既に中学校再編を行っている学校の事例など、まずは、いろんな情報を知るということが大切です。教育委員会などが、そういった情報を随時発信することで、保護者の意識も変わっていくのではないのかなと思います。

人間性を育てる学校へ

親として一番の願いは「子どもがしっかり成長できる学校であってほしい」ということではないでしょうか。中学校では、学力向上はもちろん、学校生活の中で『人間性』を育てる場です。今後も学校と保護者が一緒になって子どもの成長を支えていく必要がありますね。

また、６つの学校がひとつになることで、串間市への郷土愛もひとつとなり、串間市全体で育てられるのではないでしょうか。

市PTA協議会の役割

保護者説明会に参加して「情報を知りたい」と思ってくれる保護者はたくさんいます。しかし、「よく分からない」「あまり関心がない」という保護者の方々もいらっしゃいます。そういった方々へ対して具体的に説明し、保護者の意識を変えるのも市ＰＴＡ協議会の役割だと考えます。時間をかけて、一緒に考えていきましょう。

interview

「新しい中学校づくりに向けて」

串間市教育長 土肥(どひ) 昭彦(あきひこ)

串間への郷土愛を育てたい

串間市の学校・県立高等学校を含めて、平成 20 年４月より国の特例認可を受け、今日まで６年半にわたり、串間市小中高一貫教育を全小中高校 18 校で推し進めてきており、特に、郷土串間を知ることにより、より一層串間に愛着を持ち、誇りに思える人材の育成をめざして、「くしま学」を代表とする独自の教科に取り組んできました。

また、このことは、今後とも子どもへの教育活動の重要な柱の一つとして継続していかなければならないと考えています。

教育の質の向上

新しい中学校としての今後一層の充実強化していくべきものとして、国の提言にもあるように、「教育の質の向上」を図っていかねばならないと考えています。そのためには、生徒たちを指導する教職員の質はもちろん、教職員の数も必要であるし、少人数教育ができる環境を整え、生徒一人ひとりに十分教育指導できる体制を整備していく必要があると考えます。

また、学校教職員のみならず、スクールカウンセラー、スクールアシスタント、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育支援員、学校司書、ＩＣＴ支援員、部活動外部指導者等々の専門的な知見や技術を有するスタッフの配置を検討し、学校をサポートしていく体制を充実させていきたいとも考えています。

部活動（スポーツ・文化）についても、生徒の興味・関心に応じた数多くの部を設定し、自分に合った部活動で切磋琢磨できるよう整備していきたいです。

中高一貫教育校の推進

さらには、中学校卒業後も地元の高校へ進学し、１人ひとりの生徒の将来を見据えた活動の展開へと発展させるため、県立福島高等学校とより密接に連携した中高一貫教育校とすることで、串間の子どもたちが小中高 12 年間にわたって親元から安心して学べる教育環境の構築をぜひとも目指してまいりたいと考えています。

串間市の将来を担う子どもたちのために

学校再編の本旨は、串間市の将来を担う子どもたちにより良い教育環境を準備することにあります。今後、この基本計画および実施計画に基づき着実に教育環境の整備が図られるよう、串間市教育委員会として全力で取り組んでいきます。